ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

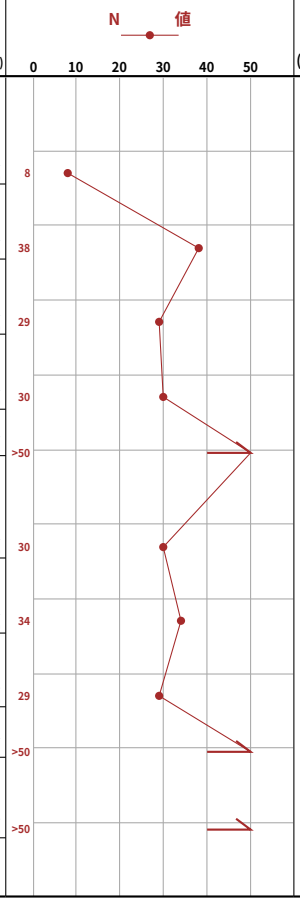
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	Br-2	調査位置				北　緯	36 ° 47 ' 39.0000 "
発 注 機 関	栃木県大田原土木事務所			調査期間	2010-09-07 ～ 2010-09-09	東　経	140 ° 15 ' 03.0000 "
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	233.94 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 5.00 °	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具	
総 掘 進 長	10.50 m								エンジン		ポ ン プ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	233.64	0.30	0.30		表土 (SF)	黒褐			有機質砂質シルト 植物根混入		
1	232.34	1.30	1.60		シルト混り砂礫 (GS-M)	暗褐	緩い		全体にシルト混り φ5～30mmの角礫主体 コア長6～8cmの大礫も混る		09/09 1.31
2					強風化角礫岩(粘土質砂礫) (CBr)	褐灰～暗灰			1.6～3.7m間粘土質砂礫である 礫はφ50mm以下の風化角礫で岩芯まで風化する 粘土分の含有量は多く礫は小礫化する 層相は固結粘土状である 3.7～4.7m間は礫は細礫化し固結粘土状 礫の風化は岩芯にまで至る		
3											
4	229.24	3.10	4.70								
5	228.34	0.90	5.60		風化角礫岩 (Br)	暗灰			コアは短柱状、弱風化した 5～10cm前後の角礫凝灰岩主体 凝灰岩主体 角礫間のマトリックスは砂～粘土化し流失する		
6					強風化角礫岩(固結粘土砂) (CC)	茶褐～暗褐			強風化角礫岩の風化部でコアは固結砂状を主体とする 固結粘土あるいは固結砂状で縞状を呈する 風化が進み、粘土質な部分でN値の低下あり		
7											
8	225.44	2.90	8.50								
9					軟岩(砂岩) (WR)	暗青灰			基盤岩は凝灰質砂岩の軟岩 コアは15～25cmの柱状で100%採取され、軽打で砕ける 全体に弱風化し、脆い 概ね良好な岩盤分布状況		
10	223.44	2.00	10.50								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	2	3	3	8／30	8
2.15	10	13	15	38／30	38
3.15	9	10	10	29／30	29
4.15	10	10	10	30／30	30
5.00	50／8			50／8	>50
6.15	9	11	10	30／30	30
7.15	11	11	12	34／30	34
8.15	11	9	9	29／30	29
9.00	32	18／2		50／12	>50
10.00	30	20		50／20	>50



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						09/08
						09/09